

「若狭漁村まるごとホテル」中間支援・過疎観光地域活性化モデル事業

現状及び課題、解決策と目指す姿

- ・ 若狭町は若狭湾と三方五湖の豊かな水資源に囲まれた地域であり、漁業と宿泊業を兼ねた漁師民宿を中心に約60軒の宿泊事業者が点在している。
- ・ 漁師民宿の多くは家族経営であり漁業との兼業であることから、人材面の課題でデジタル化の対応が進んでいない状況となっている。また、システム運用を外部へ委託し高額な費用負担が生じている等でOTAの導入が困難になる等、コスト面の課題も発生している。
- ・ 本事業では、地域全体で共通の予約管理システム等を導入することで業務の効率化とランニングコストの削減を図る。また、地域内でデジタル人材を採用、育成し、従来は外部委託していた運用業務を地域内で行い、データを活用した予約管理やマーケティング戦略、販売促進等に取り組む。
- ・ 地域全体での供給増と消費拡大の両立に取り組むことで地域経済活性化を図り、伝統的な暮らしと産業を守りながら、持続可能な「過疎観光地域活性化モデル」の構築を目指す。

事業概要

漁師民宿を対象に地域共通のPMS、サイトコントローラーを導入し、地域OTAやDMP、CRM等の整備を進めることで、宿泊事業者の運営、販売促進、予約管理等を一元化する。

あわせて、上記の取組を支援するデジタル人材を採用、育成することで、従来は外部委託していた業務を地域内で行い、漁師民宿の予約管理やマーケティング戦略、販売促進を支援する。

取組地域： 福井県三方上中郡若狭町

コンソーシアム名： 若狭エリアマネジメントコンソーシアム

代表事業者： 一般社団法人若狭三方五湖観光協会

実証内容

1. 地域共通のPMS、サイトコントローラー導入
2. 地域OTA、DMP、CRMの整備
3. エリアマネジメントによる伴走支援体制の整備
4. 地域共通での販売促進、再来訪マーケティングの実証
5. 地域共通での宿泊運営ゲスト対応の実証

目標値

KGI 域内経済効果(2,200万円)

KPI 若狭共通システムの導入軒数(30軒)

